

静岡県立島田商業高等学校

青少年赤十字加盟校

ボランティア委員会 & 地方創生SHIMASHO

高校生ボランティア・アワード
2023

地方創生に向けた若者たちの挑戦 ～10年後の種まき～

活動概要

授業で学んだ意識を机上の空論に終わらせないよう、実践に活かし若者の力で地域を元気にさせようと、地方創生活動を行っている。その活動として、ボランティア活動や地域イベントに継続的に参加し地域貢献していきたいと考えている。

そのため、単なる募金活動や当日ボランティアになることなく、継続して取り組めるよう事前学習や企画、運営段階から携わり、SDGs11「住み続けられるまちづくりを」につながる活動を目指している。

中小企業庁による「全国の商店街実態調査」の結果によると、シャッター通りが減らない理由について、中小企業庁の調査によると、商店街が抱える問題のトップ3は、

- 1位 … 後継者不足
- 2位 … 店舗等の老朽化
- 3位 … 魅力的な店舗が少ない

3位については、高校生の発想でも対応できると考えらるることから私たちは、市内外のイベント来場者に島田をPRすべく、イベントのポスター・チラシの作成や商店街を取材し「島商生が足で廻ったお店MAP」の作成・配布を行った。



イベントで島田市を元気に (名所・旧跡から商店街への回遊)

活動の目的・志など

少子高齢化の今、新しい地域社会の在り方として、行政や大人任せにせず、高校生が地域資源を学び、商業で学んだ知識を活かし、地域の課題を解決する地方創生活動を目的としている。

人口約10万人の島田市には、トーマスが走る大井川鐵道が有名だが、それ以外にも川越遺跡や蓬萊橋、諏訪原城等の名所・旧跡がある。

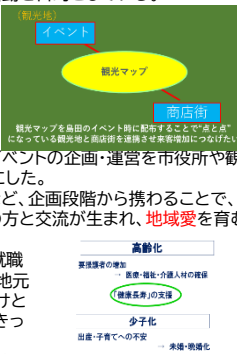
しかし、名所・旧跡と商店街は離れており、公共交通のアクセスも良くないことから、各地を結ぶイベントの企画・運営を市役所や観光協会、商店街と連携し行うことにした。

チラシ作成、配布、MAPづくりなど、企画段階から携わることで、私たちが住む地域の理解や地域の方と交流が生まれ、**地域愛**を育むきっかけになればと考えている。

地域愛が生まれれば、地元での就職や進学のほか、進学等で一時的に地元を離れても再び戻ってくるきっかけとなり、少子高齢化時代に対応するきっかけになればと思う。

また、熱海・牧之原など県内で起きた災害については、単なる募金で終わらせず、被災地を訪問して商品を仕入れ、イベントで販売するソーシャル・アントレナージュを行っている。

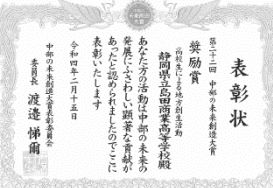
※ソーシャルアントレナージュ
単なる募金活動ではなく、商業的活動を行うことで、経済活動の復興につなげようという試み。



机上の空論に終わらせるな～ 「授業で学んだ知識と若者のアイデアを実践に！」

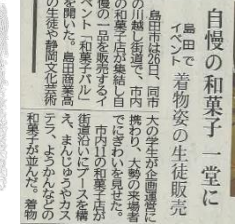
活動の詳細(実施内容/成果・実績など)

- 【今までの活動実績及び令和5年度予定】
- ・献血活動(校内献血の実施、郊外献血時の応援)
- ・JRC活動(海岸清掃、BSL入門、被災学習、国際交流、海外助け合い)
- ・社会福祉協議会(パルマーク、募金活動、高齢者スマホ教室、子ども食堂)
- ・文化祭での福祉講座(手話・点字・車いすの紹介、体験コーナーの設置)
- ・ソーシャル・アントレナージュ(視察、仕入れ販売による商業的復興支援活動)
- ・地域イベント「和菓子バル」(蓬萊橋ぼんぼりまつり)「竹あかりプロジェクト」(企画・運営からの連携、当日のボランティア)



島田市では、各種イベントが開催されていることから、市内外から来た来場者に島田の魅力を知ってもらうためにPR活動を行うこととした。

その取り組み「和菓子バル」が中部の未来創造大賞「奨励賞」をいただくことができた。



「商業の特性を活かした復興支援活動」

私たちは、商業高校の特性を活かし、単なる募金活動ではなく、被災地を訪問し、商品を仕入れ販売する「アントレナージュ」活動を実施しています。



「地域みんなを笑顔に」 今後の展望・夢など

私たちの夢は、地域住民全員が笑顔でいられるまちづくりの担い手となること。今ある地域課題を解決し、若者が主体的となって行動する必要だ。「地域と一体化するには?」を考え、意識を変えていくことが大切だ。そのために、受け身ではなく、主体的に活動することが大切であり、私たちの成長につながる。

今後もボランティアの積極的な参加や呼びかけ、被災地訪問、献面推進を実施し、私たちが地域の皆さんも笑顔になる取り組みを続けていかなければと感じている。



活動団体プロフィール

ボランティア委員会【青少年赤十字JRC】と地方創生SHIMASHO【課題研究】の合同チーム
本校では、授業・委員会・部活動が連携を、地域のイベントや奉仕作業に参加しております。
授業で委員会や部活動の内容をすることは難しく、また授業で郊外の活動を行うことも制限があるため、それぞれの利点を活かし、地域創生・SDGsにつながる取り組みを行っています。
そのため、活動内容は、献血の呼びかけ、募金活動にとどまらず、復興支援活動やイベントの企画・運営・補助など、様々な活動を行っています。